



講座のアピールポイント

当講座は眼科学に関する様々な分野のスペシャリストが在籍し、全国トップクラスの手術件数を誇っています。治療実績だけでなく、多数の臨床研究を行っている他、医局内に細胞培養実験や動物実験が行える実験室が設置されており、眼科学に関わる様々な基礎研究を行なっています。

研究に関しては、妹尾教授の専門分野である角膜、および松島准教授の専門分野である白内障に関する研究は当講座が最も得意としており、その研究業績は日本国内のみならず世界的にも高い評価を受け、国内外の主要な学会において多数の賞を受賞しています。

角膜や水晶体だけでなく、ぶどう膜炎・網膜硝子体疾患、小児眼科のスペシャリストが専門外来で最新の治療に対応しています。近年では緑内障、眼瞼、涙道分野など新しい分野のスペシャリストを育成し新しい研究も開始しているほか、医局員がそれぞれに研究テーマを持って積極的に研究や学会に参加しています。

講座研究紹介

当講座では主に角膜と水晶体に関する研究を行っています。

- | | |
|--------|---|
| 角膜の研究 | <ul style="list-style-type: none">・角膜内皮細胞の増殖能についての研究・房水中の酸化ストレスと疾患発症に関する研究・フェムトセカンドレーザーの及ぼす組織学的変化の研究・紫外線の角膜に対する影響についての研究・角膜クロスリンクの組織学的・生化学的研究 |
| 水晶体の研究 | <ul style="list-style-type: none">・白内障、難症例白内障の術後成績・後発白内障、前囊収縮のメカニズムと予防に関する研究・眼内レンズの安全性評価・水晶体上皮細胞の増殖と細胞周期に関する研究・白内障のメカニズムに関する研究 |

上記に挙げた研究は当講座で行っている研究の一部となりますが、いずれの研究も日本において実施している施設は多くありません。当講座が実施している、角膜・白内障に関する研究は、日本のみならず国際的にも高く評価されています。